



たくさんとれた～

海南保育所 きりん組 お芋掘り



海陽町議会だより

9月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. **42** (2016.11)

おもな
内容

決算認定	2P
委員長報告	6P
一般質問	14P
行政報告	17P



決算認定

さらに効率的な
財政運営へ

平成 27 年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定の議案が提出され、私たちが納めた税金や、国・県からの補助金がどのように使われたかを慎重に審査した結果、すべて原案のとおり認定しました。

平成27年度一般会計 歳入・歳出決算の内訳

地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金
株式等譲渡所得割交付金・自動車取得税交付金
地方特例交付金・交通安全対策特別交付金

地方消費税交付金
1億8,250万円

町債
8億800万円

国・県支出金
11億5,216万円

歳入
86億2,400万円

依存財源
69億4,085万円

地方交付税
47億621万円

分担金及び負担金
8,164万円

繰越金
3億6,310万円

諸収入
1億3,180万円

町税
7億2,346万円

自主財源
16億8,315万円

使用料及び手数料
財産収入
繰入金
寄付金
3億8,315万円

繰出金
10億6,804万円

人件費
9億231万円

扶助費
5億329万円

公債費
9億5,411万円

義務的経費
23億5,971万円

歳出
82億8,934万円

投資的経費
12億6,245万円

普通建設事業費
10億1,673万円

物件費
13億7,426万円

維持補修費
5,750万円

災害復旧事業費
2億4,572万円

目的別 歳出

歳出総額



82億8,934万円

議会費

議員の報酬など。



7,528万円
(0.91%)

総務費

役場の管理運営・
財産管理・地域振
興対策など。



9億1,430万円
(11.03%)

民生費

社会福祉や生活扶
助など。



18億3,584万円
(22.15%)

衛生費

保健衛生、ごみの清
掃、し尿処理など。



7億5,883万円
(9.15%)

農林水産業費

農業・林業・水産
業の振興など。



4億2,606万円
(5.14%)

商工費

商業・工業の振興
など。



1億4,939万円
(1.80%)

土木費

道路・橋の建設、
維持管理など。



7億2,427万円
(8.74%)

消防費

消防・水防・防災
対策など。



5億5,204万円
(6.66%)

教育費

教育・文化・スポ
ーツ施設の充実など。



7億4,326万円
(8.97%)

災害復旧費

インフラ、ライフラインなどの復旧。



2億4,572万円
(2.96%)

公債費

償還（借金返済）
など。



9億5,411万円
(11.51%)

諸支出金

寄付金、基金積
立てなど。



9億1,024万円
(10.98%)

(※金額はすべて千円以下を四捨五入しています。)

27年度
一般会計

83億円どう使われたのか

突喰町民センター耐震改修に1億7,665万円

当

年度の歳入総額は、
86億2,399万円

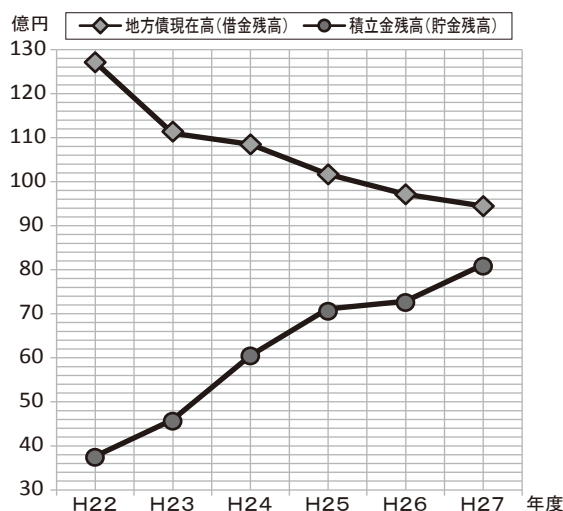
で前年度と比べて2億8,851万円の増額となっており、科目別に見ると増加したのは「繰入金」・「繰越金」・「地方消費税交付金」等、減少したのは、「県支出金」・「諸収入」・「地方交付税」等である。

今後の課題として、合併市町村に係る地方交付税算定方法の特例による増加（平成27年度6億5千万円）が、平成28年度より5年間で徐々に減少し、平成33年度算定から新町一本算定となる。また、合併特例債の発行可能期限は平成27年度から5年間延長され平成32年度までとなっている。義務的経費削減にも限度があるので、そのことを踏まえて、財政基盤強化が必要である。

基金残高一覧表

普通会計	財政調整基金	24億9,578万円
	減債基金	18億4,877万円
	特定施設振興整備基金	3億9,927万円
	鉄道経営安定基金	1億6,053万円
	地域福祉基金	2億7,379万円
	こどもあゆみ基金	9億415万円
	千年のいのちを守るまちづくり基金	13億9,452万円
	その他基金(普通会計)	9,858万円
特別会計	国民健康保険財政調整基金	2億408万円
	国民健康保険突喰診療所財政調整基金	1億4,009万円
	その他基金(特別会計)	1億5,722万円
定額運用基金	奨学金基金	2億円
合 計		82億7,678万円

町の借金と貯金の推移



一般会計・特別会計

(単位: 万円)

会 計 別	歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計	86億2,400	82億8,934	3億3,466
国民健康保険特別会計	19億7,333	19億6,308	1,025
後期高齢者医療特別会計	1億6,705	1億6,437	268
介護保険特別会計	14億9,164	14億6,376	2,788
浅川公共下水道事業特別会計	6,141	6,040	101
海部公共下水道事業特別会計	1億2,516	1億1,955	561
突喰公共下水道事業特別会計	1億5,488	1億4,913	575
神野農業集落排水事業特別会計	973	929	44
川西農業集落排水事業特別会計	2,285	2,231	54
日比原農業集落排水事業特別会計	1,035	924	111
漁業集落排水事業特別会計	1,595	1,371	224
川西簡易水道事業特別会計	3,149	1,058	2,091
海部簡易水道事業特別会計	6,221	5,999	222
中里簡易水道事業特別会計	581	290	291
川上簡易水道事業特別会計	4,163	2,987	1,176
鉄道経営安定基金特別会計	7,446	7,446	0
突喰診療所事業会計	1億8,108	1億3,174	4,934

海陽町千年の
いのちを守る
まちづくり基金

とは

地震津波災害から住民のいのちと財産を守る阿南安芸自動車道海部道路の整備を促進するための基金



事業は順調に推移

地震に備え耐震化を

平成27年度上水道事業会計

事業収入	1億2,711万円 (- 317万円 対前年度)
事業費用	1億1,342万円 (- 325万円 対前年度)
27年度純利益	1,369万円

事

業は、順調に推移しているが、営業収益は昨年度に比べ318万円の減である。この要因は、人口減少に伴う給水人口の減や節水対策により、年間給水量の減少によるものである。

防災面から見ると、南海トラフ巨大地震に備え、水道施設の耐震化などを進めることにより、地震・津波対策を計画的に進めてほしい。

さらに、簡

易水道会計との統合に向けた調査を実施しているところであるが、早期実現かつ公平・公正な事業推進が必要である。



新しい資材倉庫（穴喰地区）

平成27年度海南病院事業会計

事業収入	5億600万円 (+ 824万円 対前年度)
事業費用	5億2,524万円 (-3,096万円 対前年度)
27年度純損失	1,924万円

幅広い取り組みで

抜本的な見直しを

一

一般会計からの繰入金が3億3千万円あるが、1924万円の赤字となっている。主な要因としては、入院患者数・外来患者数の減少である。特に、医療収入に占める職員給与比率は143.1%と危機的数値となっている。

平成27年度に、コンサルティングによる経営分析や経営改善策が実施され、平成28年度には、地域包括ケア病床の導入も計画されているが、地域包括医療の拠点としての

役割を果たすためには、外来及び入院患者の安定確保は必須であり、経費削減等の幅広い取り組みなど、抜本的な見直しが強く求められる。



訪問診療

要 望 活 動



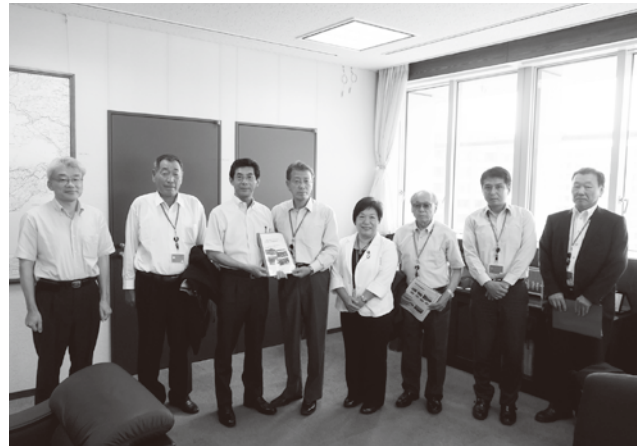
国土交通省「石井 啓一 大臣」



国土交通省「森 昌文 技監」



財務省「三木 亨 財務大臣政務官」



国土交通省四国地方整備局「名波 義昭 局長」

議会のうづき

7月1日から9月30日まで

7 月

- 7日 議会運営委員会
- 7日 議会広報編集特別委員会
- 13日 第4回臨時会
- 13日 議会全員協議会
- 15日 議会広報編集特別委員会
- 19日 徳島県町村議会議員研修会（徳島市）
- 26日 四国横断線改良促進期成同盟会総会（徳島市）
- 29日 徳島県女性議員連盟総会（徳島市）

8 月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 県議長会総会（徳島市）
- 5日 四国地方整備局要望活動（高松市）
- 8日 第5回臨時会
- 8日 議会全員協議会
- 9日 徳島県南部地区四国横断自動車道建設促進期成同盟会総会（阿南市）
- 19日 南阿波定住自立圏共生ビジョン懇談会（阿南市）

9 月

- 23日 町村議会広報紙作成講座（徳島市）
- 31日 東洋町・海陽町意見交換会（東洋町）
- 2日 議会全員協議会
- 2日 海南病院改革特別委員会
- 2日 議会運営委員会
- 12日 第3回定例会（1日目）
- 12日 総務産業建設常任委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 文教厚生常任委員会
- 15日 第3回定例会（2日目）
- 16日 議会広報編集特別委員会
- 19日 海陽町敬老会
- 28日 国土交通省及び財務省要望活動（東京都）
- 29日 四国町村長・議長研修会（松山市）

海陽町議会では、総務産業建設・文教厚生部の2常任委員会、海南病院改革特別委員会を設置しています。本会議から付託された議案を9月12日、13日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。

総務産業建設常任委員会

豊かな森づくり事業始まる

委員長 原 ひろみ

9月12日開会。

奥馬谷残土処理場を巡視した後、上程9議案の説明を受けた。

平成27年度の決算の認定については、普通会計の総額は歳入86億9373万円、歳出83億5907万円。実質総収支額2億9327万円である。

歳入の主なもの、地方交付税54・1%、町税8・3%、国庫支出金6・8%、県支出金6・5%、町債9・3%である。税収入は普通税



委員会の巡視状況（奥馬谷残土処理場）

いるのか、しっかり確認するとの返答であった。歳出は民生費22・2%、総務費17・6%、公債費11・4%の3点で51%を占める。

特別会計は全て黒字決算となっている。上水道事業会計は人口減と節水対策の影響で給水人口、給水量とも減少している。

専決処分承認については、穴喰庁舎、イベント倉庫解体工事によるアスベスト除去作業の前後に土壌検査を14回実施。

移転補償、各種体育大会出場補助金を合わせて892万円の補正予算。

条例改正は、海南病院に作業療法士を雇用するための職員給与、特殊勤務手当を追加するもの。他の条例は、町営残土処理場の設置と管理の条例を改正するもの。新規に奥馬谷と

神野柿谷残土処理場を追加し、中谷残土処理場の3カ所に変更する。

議案第90号は、第154号道路災害復旧工事で請負契約変更、掘削土量や残土処理量の追加で工事費12443万円増額。

議案第91号は、神野橋道路改良工事に舗装工事追加で667万円増額。

平成28年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ3億7561万円追加し、総額74億1040万円とするもの。

主なものは、農業費「きゅうりタウン構想」実現に向けた施設整備に1859万円。

林業費は豊かな森づくり事業、癒しの山並み創生プロジェクトに3255万円の事業費。森林整備加速化林業飛躍事業で高性能機能機械導入に1億240万円の総事業費（町負担1409万円）。

商業費はプレミアム商品券発行に1050万円。サテライトオフィス型テレワーク推進事業に666万円。

観光費はインディゴソックス冬季キャンプとエコカメプロジェクトに174万円。観光施設管理費の868万円は、町有施設の修繕費。

土木関係では林道修繕3カ所調査設計に350万円。靫浦漁港津波安全対策に総額1000万円

の事業費（町負担140万円）。残土処理場3カ所の造成費、大型機械借り上げ料、仮設工事に1650万円。靫浦南町排水路改修計画設計委託に625万円。城満寺線改良測量設計に600万円。

公園費は海南病院前親水公園の地盤沈下で地盤改良に130万円。

その他、様々な協議が行われたが、概要は以上のとおりで、当委員会を閉会した。

海部のきゅうりを全国へ

園芸施設整備 1859万円

「きゅうりタウン構想」実現に向け、次世代園芸施設を整備します。県内初となる養液（水耕）栽培のできるハウスは、コンピュータで温度、湿度を管理し、最適な環境をつくることができます。

儲かるきゅうりを経営し、移住就農者を増加、地域活性化を目指します。



実験ハウス CO₂ 発生機

安全に通行するために



城満寺線
(吉田字南沢)

吉 田町内会より陳情のあった、町道城満寺線の拡幅改良工事のための設計委託料です。

道路改良委託料
600万円

昨 年度より3ヶ年計画で施工中の町道伊勢田線舗装工事です。併せて、施行区間の横断水路を改良します。また、損傷の著しい町道平井線の舗装工事も行います。

舗装工事費

町道伊勢田線
600万円
町道平井線
1000万円

森へ行こう



豊かな森づくり (神野地区)

神 野地区の町有林に桜やモミジなどの広葉樹を植林し、観光資源や移住交流の拠点とするための環境整備を行います。

癒しの山並み創生プロジェクト
3255万円

災害に備えて



奥馬谷残土処理場

災 害の軽減を目的とし、主に海部川堆積砂利の処理を行います。
○奥馬谷残土処理場…大里字奥馬谷39番地1
○柿谷残土処理場…神野字柿谷97番地1

町営残土処理場
2カ所設置
1650万円

お得にお買い物を

海 陽町全域で共通して使用できる商品券を発行します。町内の消費拡大を図り、企業を維持存続することを目的としています。
販売価格は1万円、1000円券10枚と500円券2枚がついています。11月14日から発売で、1人5組まで購入できます。

プレミアム商品券事業
1050万円

漁港・集落の安全を目指し



奥馬漁港の改修箇所

大 規模地震、津波に対する漁港や背後集落の安全対策として、漁港施設の機能強化を図る事業です。テトラポットを除き、コンクリートの堤防を延ばします。

海部鞆浦漁港機能強化・調査設計費
1000万円

文教厚生常任委員会

各種スポーツ大会に多数参加

委員長 三浦 茂貴

9月13日開会。

決算の認定について、平成27年度一般会計決算と国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3つの特別会計決算及び海南病院事業会計決算の説明を受けた。主に前年度との比較と増減要因の説明であった。

専決予算の一般会計補

正予算は、少女バレーの全国大会、ママさんバレーの四国大会、サーフィンの選手権全国大会、アンダー18バスケットのアジア大会、各大会への出場補助金合計35万円などであった。

指定管理者の指定については、現在再編した栄養保育所の運営を恵の園福祉会に指定管理するも



少女バレーボール「突喰杉の子」が全国大会出場挨拶

ので、期間は3年間である。また、人権擁護委員候補者の推薦については前任者の任期満了に伴い後任者を推薦するものであった。

次に、一般会計補正予算の協議を行った。

民生費5280万円の主なものは、デイ・サービスセンターわしずみ荘及び突喰老人憩いの家エアコンの入れ替え工事1450万円、奥浦老人福祉センター2階の大広間ドアの修繕料29万円、突喰保育所職員室の雨漏り修繕料89万円、すだち寮大規模改修に伴う予算3483万円など

で、突喰保育所の施設については来年度には大規模改修に向けて計画を立てていきたいとのことである。

衛生費84万円の主なものは、突喰斎場のサッシや天井クロスの修繕料47万円など。

教育費

1631万円の主なものは、小学校3校の飛散防止フィルム代125万円、海部小学校タブレット

ト先行購入費233万円、突喰中学校の技術室と渡り廊下の屋根葺き替え工事740万円、海陽中学校バスケットボール部全国大会生徒派遣費128万円などであった。

続いて国民健康保険特別会計補正予算の説明を受け、最後に海南病院事業会計補正予算の説明を受けた。10月から病院のスタッフに加わる作業療法士の給与などが計上されている。

災害時ガラス片が飛び散るのを防ぎます

3小学校のガラスに
飛散防止フィルム

125万円

地

震によるケガで最も多いのが、ガラスによるものです。廊下や教室

への飛散を防ぎ、安全な避難のために飛散防止フィルムを購入します。



保護者がフィルム貼り
(突喰小学校)

海部小学校にタブレット
先行導入 233万円

タブレットを
教育現場に

I

CT(情報通信技術)を活用した「教育の情報化」のさらなる推進に向け、海部小学校にタブレットを先行導入します。他校の先生もこれにより研修し、今後、町内の学校への普及を進めていきます。

生徒分9台、先生分4台、計13台

キーボード等付属品も今後、導入予定です。
(P13参照)



海部小学校の授業風景

安心して暮らすために



すだち寮廊下

すだち寮大規模改修

3483万円

母 子生活支援施設すだち寮は、建築後42年が経過して老朽化が進んだため外壁やトイレ・浴室等を改修し、併せて防犯対策の充実を図ります。

(P13参照)

屋根が一番



突喰中学校 技術室・渡り廊下

突喰中学校技術室及び渡り廊下 屋根改修 740万円

昭 和48年に建てられた施設の屋根は、長年の風雨にさらされたため、サビが屋根全体に発生しています。特に渡り廊下では、それに起因する雨漏りがひどく、雨天時には避けて通行している状況になっています。これを改善するため、それぞれの屋根を新しく葺き替えます。

(P13参照)

読書の秋に向けて



海南図書館屋根

図書館屋根修繕

130万円

町 立海南図書館の屋根部分の雨漏りを修繕します。

つどいの場を
快適に



改修前のエアコン室外機

ディ・サービスセンターわしらずみ荘及び 突喰老人憩いの家 エアコン改修 1450万円

設 置から26年が経過し、老朽化による故障が増えています。このため、エアコンを新しく取り替えて、高齢者の方に過ごしていただきやすい環境整備を行います。

海南病院改革特別委員会

海部・那賀モデルの推進

委員長 長岡 秀一郎

9月2日開会。

病院管理責任者である小原院長より、医師不足による原因で経営が厳しい状況であるとの認識が示された。

今後の運営方針として県より、上那賀病院、美波病院、海部病院、海南病院との4病院で、**海部・那賀モデル**という組織を組み各病院で機能を分担し、問題解決を図る打開策が提案された。

海南病院はリハビリを含む回復期を担う、またグループを作ることにより医師の派遣を可能とする条件が示されている。昨年9月厚労省は、医療法人が2カ所以上で法人化すれば、地域医療連携推進法の認可が可能にな

り、海部・那賀モデルの推進の話が出てきたとのことである。

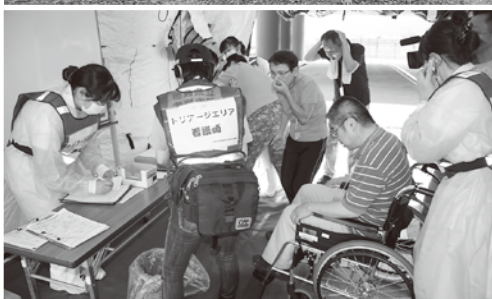
法人設立により、各病院間で診療科のやりとり、病床の移動医療器具の共同利用、薬剤や機材の共同購入、医師の研修等が可能になる制度である。海南病院は45床があるが、一般病床を残し専門医1人採用し、当面は10床ほどを**地域包括ケア**病床として運営し、実績次第で数を増やしたいとのこと。

現在、海部病院より患者を回してもらおう取っ掛かりとして、脳外科医師2人を隔週で外来に来てもらっている。今後、この制度を利用し経営改善を図っていききたいとの考えを示した。

その後、質疑に入り委

員より海南病院運営方針、財務再建計画の立案、地域住民からの信頼が希薄になっている、院長も医師に対する指導をお願いしたい、また包括医療体制を見据えたスタッフの教育も併せてやってもらいたい、医師の確保はいつ結論が出るのか、海南病院は終末医療の役割も求められている、厳しい状況を作ったのは病院側の対応が不十分であったからだ、整形の医師も患者の話聞いてあげないといけない、問診が一番大事だ、救急を取らないとの噂を聞いている、海南病院に掛かっている患者は一旦受け入れ、無理ならば他病院に搬送する体制づくりも必要等意見が出た。これに対して院長、看護師長より説明を受けたが、一部理解は進んだが十分納得できる内容ではなかった。質問事項については現場に持ち帰り、検討をお願いすることとし、委員会を閉会した。

防災訓練



平 成26年度南部圏域防災訓練が9月1日に行われました。副会場となった海南病院を中心とした医療救護訓練で

災害時に的確な医療が提供できるように、災害派遣医療チーム(DMAT)の体制強化を図ります。

診断力向上



画像読み取り装置入替

680万円

海 南病院の医用画像読み取り装置が新しくなります。これにより、早期発見、早期治療、さらに地域医療の充実と地域住民の健康管理が向上します。

2回目は病院長の発言に耳を傾けました

院長

「赤字の原因は医師不足が一番である」

「『海部・那賀モデル』の地域医療連携を推進していく」

「今年度赤字を減らす信念でやっている」

「町広報誌に病院のことを載せるようにした」

「防災訓練で災害時医療は県下で一番進んでいると評価された」

「病院にゆとりが必要だ、それで患者への対応も良くなる」

「急患の患者は診て、断ることはない」

「右肩上がりを数字で示していく」

看護師長

「医師たちも努力している」

「看護師も最善をサポートしている」

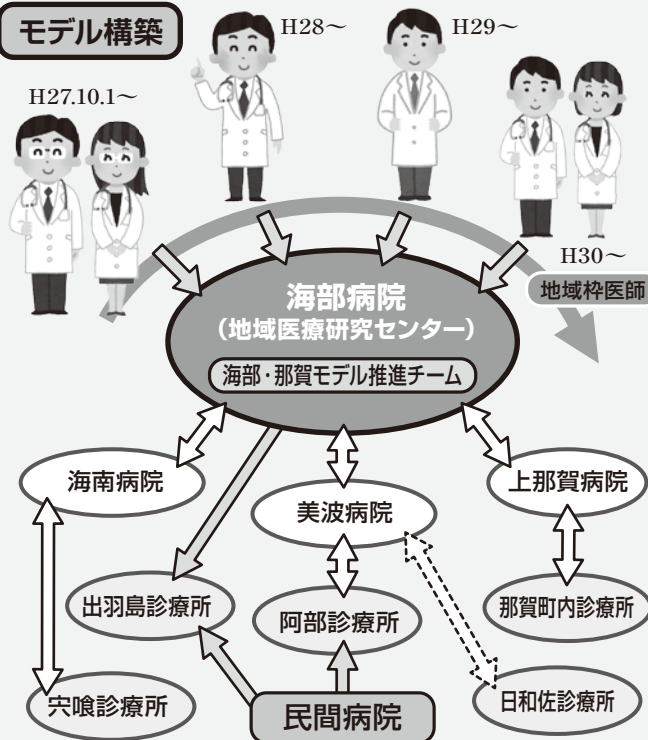


「海部・那賀モデル」とは、

医療資源に恵まれない海部郡・那賀郡の地域医療を支える体制を確保するため、海部病院・海南病院・美波病院・上那賀病院の4病院と、郡内の5つの診療所が互いに連携し、地域の公的医療機関が一体となった医療提供体制を構築していく取り組みです。

具体的には、医師の派遣や、医療機関や医薬品の共同利用・共同購入、医療情報の共有等を進めることで、県南部の医師不足解消に努め、安心・安全な医療を継続して提供できる体制を目指します。

モデル構築



前回の議員の問いかけに答えるように、院長に話していただきました。その上で、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築に期待したいです。住民のニーズに的確に応える海南病院となるよう、議会は、今後出てきた数字を紹介しつつ、見守り応援していきたいです。



第3回定例会

議案の審議

平成28年第3回定例会は、9月12日開会、町長より13議案、議員発議3件が提出され、審議の結果原案どおり可決・承認し、9月15日閉会した。

条例関係

- ・職員の給与に関する条例及び職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- ・作業療法士の給与表等を追加する改正
- ・町営残土処理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ・2箇所を廃止し、新たに2箇所を追加する改正

契約関係

- ・平成27年災害国補第154号道路災害復旧工事変更請負契約について
変更前契約額 1億2312万円 変更後 1億3555万円
- ・町道海南柿谷線神野橋道路改良工事変更請負契約について
変更前契約額 1億1829万円 変更後 1億2497万円

承認関係

- ・決算の認定について
- ・専決処分の承認を求めることについて
- ・平成28年度一般会計補正予算(第2号) 8922万円↑
- ・指定管理者の指定について
- ・施設の名称 宍喰保育所
- ・指定する団体 社会福祉法人 恵の園福祉会
- ・指定の期間 平成29年4月1日～平成32年3月31日
- ・人権擁護委員候補者の推薦について



住所 宍喰浦字宍喰
氏名 由木 和幾

予算関係

- ・平成28年度一般会計補正予算(第3号) 3億7561万円↑
- ・平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 9872万円↑
- ・平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 100万円↑
- ・平成28年度川上簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 50万円↑
- ・平成28年度海南病院事業会計補正予算(第1号) 680万円↑

注釈
↑ 増額
↓ 減額

議員発議

- ・議会会議規則の一部を改正する規則
- ・委員会が議案を提出できる条項を追加する改正
- ・議会委員会条例の一部を改正する条例
- ・議員の懲罰の動議等があったとき、懲罰特別委員会等が設置されたものとする改正
- ・参議院選挙区の県をまたいだ「合区」に反対する決議
- ・海陽町議会は、地方の声を国政に届けるため、地方分権に逆行する参議院選挙区の県をまたいだ「合区」に強く反対する決議をし、次の参議院選挙では合区の解消を求める決議をする

第4回臨時会

議案の審議

平成28年第4回臨時会は、7月13日開会、次の2議案が提出され、審議の結果原案どおり可決し、同日閉会した。

契約関係

- ・平成28年度浜崎地区集会所兼避難所新築工事請負契約について
契約金額 5724万円
- ・契約相手 丸乃木材(有) 代表取締役 乃一 吉男
- ・工 期 議決のあった日の翌日～平成29年2月28日

第5回臨時会

議案の審議

平成28年第5回臨時会は、8月8日開会、次の1議案が提出され、審議の結果原案どおり可決し、同日閉会した。

契約関係

- ・平成28年度海部公民館耐震改修工事請負契約について
契約金額 1億2506万円
- ・契約相手 (株)八千代組 代表取締役 森本 則明
- ・工 期 議決のあった日の翌日～平成29年3月17日

- ・平成28年度町営バス車両購入契約について
契約金額 784万円
- ・契約相手 (有)芝原オートセンター 代表取締役 芝原 一史
- ・納 期 議決のあった日の翌日～平成29年2月10日

9月補正予算後の歳入歳出予算

歳 入	9月補正	補正後	構成比率
町 税	0	6億6,313万9千円	8.9
地 方 譲 与 税	0	5,780万円	0.8
利 子 割 交 付 金	0	40万円	0.0
配 当 割 交 付 金	0	700万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	450万円	0.1
地方消費税交付金	0	1億4,030万円	1.9
自動車取得税交付金	0	720万円	0.1
地方特例交付金	0	80万円	0.0
地 方 交 付 税	1億8,246万円	39億817万6千円	52.7
交通安全対策特別交付金	0	110万円	0.0
分 担 金・負 担 金	0	7,475万円	1.0
使用料・手数料	9万9千円	6,741万8千円	0.9
国 庫 支 出 金	1,672万6千円	5億1,084万3千円	6.9
県 支 出 金	6,274万3千円	5億6,755万1千円	7.7
財 産 収 入	0	4,466万円	0.6
寄 附 金	0	70万円	0.0
繰 入 金	230万9千円	3億4,534万7千円	4.7
繰 越 金	200万円	8,238万5千円	1.1
諸 収 入	1,234万2千円	1億1,203万3千円	1.4
町 債	9,693万3千円	8億2,513万3千円	11.1
合 計	3億7,561万2千円	74億1,040万5千円	100.0

歳 出	9月補正	補正後	構成比率
議 会 費	0	7,063万6千円	1.0
総 務 費	5,065万円	10億3,962万7千円	14.0
民 生 費	5,280万4千円	17億9,040万4千円	24.2
衛 生 費	84万1千円	7億2,124万7千円	9.7
農 林 水 産 業 費	7,727万2千円	5億4,619万2千円	7.4
商 工 費	2,823万8千円	1億8,785万8千円	2.5
土 木 費	1億438万1千円	8億5,647万7千円	11.6
消 防 費	371万円	5億2,035万2千円	7.0
教 育 費	1,631万6千円	7億8,870万4千円	10.6
災 害 復 旧 費	4,140万円	6,680万円	0.9
公 債 費	0	8億639万8千円	10.9
諸 支 出 金	0	376万円	0.0
予 備 費	0	1,195万円	0.2
合 計	3億7,561万2千円	74億1,040万5千円	100.0

議案のQ&A

平成28年度

一般会計補正予算(第3号)について

Q1 技術室改修〔740万円〕



小山議員

穴喰中学校の技術室の耐震診断を早急にしないといけないと思うが、いつするのか。

池内教育次長

非木造平屋200㎡以下なので耐震診断対象となっていないが、来年には実施したい。

小山議員

耐震基準を満たしているか分からないまま工事をするのは、いかがなものか。

前田町長

屋根の修繕の方がより急ぐという判断をした。耐震の必要があれば耐震工事も追加しなければいけないが、今は修繕で対応したい。

Q2 すだち寮改修〔3480万円〕



池下議員

すだち寮の築年数は何年か。どこを改修するのか。

浦川福祉課長
築42年経過。改修内容は屋上防水、外壁・ト

イレ・浴室の改修、併せて防犯対策の強化にも取り組みたい。

池下議員

これだけ費用をかけるなら、建替すればどうか。

福祉課長

この施設を続けていくのであればいつかは建替の必要があるが、世帯数の推移をみると改修工事がベストと考える。

Q3 避難所安全調査〔150万円〕



三浦議員

熊本地震を受けての避難所対策ということだが、どういう対策か。

片田危機管理課長

県が7月に避難所緊急安全診断事業補助金要綱を策定した。避難所の天井や電気設備の落下についての調査。

Q4 小学校にタブレット導入〔233万円〕



長岡議員

ふるさと納税を使って小学校にタブレット端末を導入することだが、ふるさと納税は目的を持った基金で、自由に使用して良いのか。

佐藤総務課長

はぐくみ事業というのがあり、教育分野で活用する目的となっている。足りない分は、目的を指定していないふるさと納税をプラスして対応する。

参議院選挙区の県をまたいだ「合区」に反対する決議

提出者 三浦 茂 貴
賛成者 池 下 嘉 郎

海陽町議会は、地方の声を国政に届けるため、地方分権に逆行する参議院選挙区の県をまたいだ「合区」に強く反対する決議をし、次の参議院選挙では合区の解消を求める決議をした。

サーフィンでの地域おこしをしてはどうか？



長尾 正大 議員

〈町長〉今後とも積極的に検討していく

【答】池内教育次長

【問】サーフィンに対する地域での理解を深めるため、町の子どもたちへのサーフィン体験授業をしてはどうか。

【答】横産業観光課長
海陽町にはサーフィンを目的とした移住者が以前から数多くおり、若年家族の移住も相次いでいる状況。
今後は、移住の際に大きな条件となる住及び仕事をパッケージで提供できれば、地域の産業の振興や人口減少にも歯止めだけではなく、町内の年齢構成を若返らせることも期待できる。また、観光コンテンツとしても大きな資源であり期待できる。

【問】東京オリンピックでサーフィンが正式種目に決定した。サーフィンを通じて町の活性化、地域おこしをしてはどうか。

【答】池内教育次長

【問】学校の体育の学習要領では学年ごとに指導内容が決められている。また、授業として取り組むには危険度が高いスポーツであること、自然のフィールドで通常の体育のカリキュラムを行うのは難しい。実施するならば社会教育、生涯学習としての取り組みを考えた。

【問】通常の体育が無理なのであれば、中学校の総合学習などでは対応できないか。
【答】教育次長
危険度が高いということで、生徒の安全確保を第一に考えると厳しい。
【問】オリンピックの事前調整のキャンプや合宿の誘致はできないものか。
【答】産業観光課長
本町には海部ポイントをはじめ、穴喰ポイントや近隣の生見があり、波がコンスタントにあること、宿泊施設も充実していることから、練習・調整の候補地としては有望と考えられる。
県とタイアップしての誘致や、国内外のサーフィントを定期的に誘致して、海陽町の優位性を

【問】サーフィンによる町の活性化のために、地域おこし協力隊にサーファアを募集してはどうか。

訴えていくことにより、調整練習の場として利用していただける可能性があると考える。

【答】池内教育次長

【問】すでに一定の成果の出ている宮崎県など、サーフィンの先進地に視察に行つてはどうか。

【答】産業観光課長
行政の役割はイベント開催などPR活動と、サーフポイントのハード整備、地域のルール作りが上げられる。全国のサーフポイントの状況や取り組みなどを調査・視察することも必要。また、「サーフオノミクス」の観点での調査研究も必要と考える。
【問】サーフインは町の活性化、観光産業にとってメリットがあり、活かすべき文化。サーフィンと町との関係性に、将来的なビジョン、理想はあるのか。
【答】前田町長
本町の活性化や人口政策にとつても、サーフインは欠かすことのできない要因。
今後、先進地の調査を実施し、問題点について検討し、町民とサーファアと

【問】サーフインは町の活性化、観光産業にとってメリットがあり、活かすべき文化。サーフィンと町との関係性に、将来的なビジョン、理想はあるのか。

【答】産業観光課長
行政の役割はイベント開催などPR活動と、サーフポイントのハード整備、地域のルール作りが上げられる。全国のサーフポイントの状況や取り組みなどを調査・視察することも必要。また、「サーフオノミクス」の観点での調査研究も必要と考える。



サーフィン（海部川河口）

のルール作りをすることで、町民みんなが気持ち良く受け入れができるようにする。
併せて、スポーツレジャーの分野だけでなく、住宅、子育て支援等、生活支援全般への情報提供をして、夢のライフスタイルをイメージさせることで移住や定住を促進していきたい。
東京オリンピック、パラリンピックに向けて、多方面から新たな取り組みを提案いただいている。今後とも積極的に検討していく。

般

質

問

縦割り構造の排除に取り組むべきだと思うが



三浦 茂貴 議員

〈町長〉たらい回しがないよう各課が連携していく

問 海陽町総合戦略の中に各部署、制度毎の縦割り構造を排除し取り組んでいくとあるが、どのような取り組みを行っているのか。

答 戎谷まち・みらい課長 創生総合戦略で目指すみらいを生み出す好循環な町づくりに向け、各課職員が情報共有を行い、町の活性化に向けた課題解決や施策の検討と実施など、連携して行える組織体制づくりにより、好循環な町づくりに取り組んでいるところである。

問 窓口を一本化するなど、たらい回しをしないようなシステムを作るべきだと思うがどうか。

答 前田町長 窓口をたらい回しにするようなことのないよう、各課が連携した対応を図っていききたい。住民目線に立った対応を第一に考えていきたい。

町産材の備蓄を すればどうか

〈町長〉今後、検討課題になる

答 横産業観光課長 発注当初、木材の供給で町と業者、また業者間同士で意思疎通が上手く図られていなかったため、町産材の供給量が少なくなると心配していたが、現時点で全体の93%を町産材を使用して建築する予定である。

問 「海陽町公共建築物等における木材利用促進に関する基本方針」で、優良な町産材の利用を進めながら森林文化を継承しつつ発展させていき、地域経済への活性化への貢献に資すると謳われている。

問 天然乾燥材が乾燥に約4ヶ月ほどかかるのに比べて、人工乾燥材は1週間から2週間で乾燥させることができる。しかし人工乾燥材は、短時間に高温で蒸気乾燥させるため内部割れが生じたり、木材本来の香りや成分が抜けて燻製のような匂いになり、色も焦げたように艶がなくなる。木の切り旬を守って、乾燥にも時間をかけた天然乾燥した町産材を使うことは、単年度で事業を消化しなければならぬ行政にとつては、難しいと思うが、良い考えを三つ提案したい。

①基本設計をした段階で町が先に材を町の財源で調達して、材を保管しておき、補助金の目処がついた時点で、発注してその材を業者に買ってもらう分離発注ができれば、実質の事業期間が二年取れて、良質な町産材や町有林の材を利用することができると思うがどうか。

答 産業観光課長 補助事業の事業実施となると、町が調達する材は町の所有物となるため、補助対象外となる。町が先に材を購入するためには一般財源になり、起債対象にならないため財源的にも難しい。

問 ②南海トラフ巨大地震に備え、まぜのおかの仮設住宅型コテージの材料を何十棟分か備蓄しておいて、平時には公共施設などに使用して、その都度、新しい材を補給すればどうか。

答 産業観光課長 天然乾燥の町産材を使用するには備蓄庫が必要である。倉庫の問題、木材の在庫管理、実施主体はどこが良いのか、備蓄システムの構築について

関係機関と連携して模索していきたい。

答 町長 まぜのおか交流棟倉庫兼管理棟を建てている計画の時に、そういう話が出たことも事実。今後検討課題になる。

問 ③国に事前着工や事故繰越も認めてもらえるような、天然乾燥材利用特区を申請すればどうか。

答 産業観光課長 天然乾燥材利用特区の申請により、補助事業制度の特許許可や緩和ができるのか、国・県・関係機関と協議していきたい。



建築中の「まぜのおか管理棟・交流棟」

小学校入学直前の幼児への保育支援を



原 ひろみ 議員

〈福祉課長〉実施に向けて協議する

一億総活躍社会に向けて妊娠・出産・子育てまで切れ目のない母親への支援が打ち出されている。女性が活躍できる社会とするために、社会保険制度の充実が必要となる。

しかし今、海陽町では保育所や幼稚園を卒園し、小学校入学までの2週間、子育て支援にばかり穴が開いている状態である。春休みの間、保育所での保育もできず、小学生でないため学童保育も利用できない。働く親は2週間も育児休暇を取らず、各自で預かり先の祖父母も仕事をしているため、孫の守を頼めない。女性が仕事を休まず、しっかり社会で活躍を続けられるため、町として何とかサポートできないものか。ファミリーサポートを利用するにも利用料金が1時間700円かかり、一人親家庭や

パート臨時職員で働く母親にとって、かなりの負担となる。

問 ファミリーサポート利用者へ公費負担をするとか、現在、二葉保育所の長期休暇期間、子ども預かり事業を利用できないのか。町はどのような対策を考えているのか。来春新入学児童は何人か。今、二葉保育所の預かり事業を利用している児童数は何人か。

答 浦川福祉課長

平成29年度に入学予定の児童は51人の予定。長期休暇子ども預かり事業の利用者は、この夏休みで26人の申し込みがあった。子育て支援としてファミリーサポートセンター制度があるが、子どもの送迎など、ちょっとした子育て支援サービスを中心としているので、数日にわたる子どもの預かりは困難であると思われる。



夏休みの学童保育

二葉保育園で実施している預かり事業を、五歳児の保育所もしくは幼稚園卒園の児童を対象として拡大し、春休み期間中の実施に向けて協議していきたい。

問 二葉保育所での預かりは可能か。保育士は足りるのか。

答 福祉課長

現在、支援員として2人から4人の体制で行っている。支援員の確保について一緒に連携して体制を講じていきたい。

手元に残るオリジナル婚姻届を作成しては

〈住民人権課長〉良い方向へ考える

問 結婚する二人が役所に婚姻届を提出すると、手元に何も

問 子育て支援の内容が一目瞭然で分かる冊子を早急に作成し、利用できるようにPRしてほしい。

答 福祉課長

対外的に支援策を発信できるよう、パンフレットやガイドブックのようなものを作成したい。

残らない。少子高齢化の中、新しい門出を迎える二人に記念となる物を残してあげることができないものか。プロポーズの言葉や思いでの場所や写真を貼ったりと、いろいろなパターンの中から選べる婚姻証明書にしてはどうか。昨年の婚姻数はどのくらいか。

答 奥原住民人権課長

婚姻届受理証明書は戸籍法施行規則等で文言などの様式は定められているが、上質紙の証明書は背景などの変更は自由に変更できる。

現状のデザインが良いのか、新たなデザインが良いのか、数ある中から選択して決めるのが良いのか、婚姻届提出者など住民の方の意見を参考にしながら、より良い方向へ考えていきたい。昨年度の婚姻届の受理件数は15件。

結婚直後の初心を忘れず、いつまでも幸せな家庭を築くため必要ではないのか。町が若いカップルを応援することで、この町に住みたいと思う人が増え、特色ある町づくりとなる。

急がれる「命の道」

町長 前田 恵

台風10号は東北・北海道に大きな爪痕を残した。災害に遭われ被災された方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りしている。

阿南安芸自動車道・海部道路は、平成27年3月に計画段階評価の対応方

針が決定されてから、9月で1年6カ月になる。その間、関係機関に要望を続けてきたが、ルート決定はおろか、都市計画決定、事業着手等、目に見えた進展もなく、本当に苛立った思いである。8月5日は四国地方整備局に要望活動、7月に石井国土交通大臣が美波

町にお越しになられた際には、直接要望書をお渡しする機会をいただきたい。こういった要請活動を続けることにより、必ずや事業着手が早まるものと確信しているし、国土交通大臣にお会いできたことによる絆を大切にしなければいけない。住民の命と財産を守るためには、「命の道」である海部道路を一日も早く事業着手し、完成させなくてはならない。南海トラフ巨大地震より開通が遅れるようなことだけは、絶対に避けなければいけない。

海南病院の件では特別

委員会も立ち上がり、真剣に協議していただいているところである。病院経営も少しずつであるが、上向きつつある。今以上に内部努力を重ね、良い方向に改革していく努力を続けてほしい。私たちは、現在交渉している医師の確保に全力を傾けている。

私の公約の一つであった**みらい会議**は、6部会の中から特定非営利活動法人（NPO）設立の話が持ち上がり、5月30日に設立総会を開催し、8

月25日に法人登記も終了した。特定非営利活動法人「あったかいよう」が活動を始めることとなった。

監査委員による**平成27年度決算審査**が終了した。その結果、予算は適正に執行され、計数処理も適切であったとの意見をいただいている。

普通会計の決算状況のうち、**積立基金残高**、**地方債残高**、**経常収支比率**、**実質公債比率**等については、平成26年度と比較して**積立基金残高**は多くなり、**地方債残高**は減少、**経常収支比率**は0.3ポイント、**実質公債比率**は0.9ポイント良くなっている。

危機管理課では**地域強化計画**を策定中である。課長会議で検討し、ホームページに掲載してパブリックコメントをいただき、最終的な計画にしたい。この計画は、海部道路の早期事業着手の要件の一つとして要請されている。

国・県・町及び地域関係団体並びに住民の方にご参加いただき、**地域防災公園**検討会を開催している。国は、町が要望し



徳島県防災訓練での講評

る予定である。

ている高規格道路のルート並びに、宍喰地区インターチェンジについては、国・県・町が連携して宍喰地区防災公園の検討と併せて、高規格道路との連絡方法を検討することとしている。今後の会議では、防災公園の平時の利用方法等を検討し、本年中に案をまとめる予定である。

海陽町始まって、初めての定住型**サテライトオフィス**が開設された。大変ありがたいことであり、今後もコワーキングセンター城山荘を中心に、今まで以上にサテライトオフィス誘致に向けて取り組んでいきたい。



発表会の後 みんな笑顔

活動内容を教えてください。

お鯉さんが遺した「よしこの」や、数々の三味線の名曲を後世に伝えることを目標にし、その担い手の一人になれるよう、みんな楽しく頑張っています。



全体で演奏



グループで練習

海陽町のいいところは？

海の幸・山の幸が豊富で新鮮。食べ物が美味しい。住んでいる人は人情がゆたかで、文化に関心のある人も多く、町が明るい。

海陽町に対する要望はありますか？

風光明媚な海陽町のことを、県内外の多くの人たちにアピールし、『地域の活性化』につなげていけたらと思います。

議会だよりを読んでいますか？

社中のほとんどの人が「読んでいる」と答えました。中には「毎号楽しみにしている」と答えた人も何人かいました。

編集後記

今回のリオデジャネイロでのオリンピック・パラリンピックが開催され、日本もよく健闘されました。そうした中でパラリンピックで、必死になって粘り強く頑張っている選手の皆さんをテレビで見、大変感動しました。

人生において欠かすことができないのがスポーツであります。言い過ぎかもしれませんが、特に現代の若者にはスポーツを通して厳しさに耐え、我慢することを認識していただきたいと思っています。スポーツは若者だけでなく、高齢になっても毎日自分に合った運動をして、体調を整えることが大変重要であり、町としても大歓迎であります。

これからも議会広報を町民の皆様がわかりやすく読んでいただけるよう委員一同努力し、試行錯誤しながら頑張つてまいりますので、皆様からも忌憚のないご意見・ご要望をいただければ幸いです。(池下)

